

製品名: Zic1/2/3/4/5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20105**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	ZIC1 ZIC1; ZIC; ZNF201; Zinc finger protein ZIC 1; Zinc finger protein 201; Zinc finger protein of the cerebellum 1; ZIC2; Zinc finger protein ZIC 2; Zinc finger protein of the cerebellum 2; ZIC3; ZNF203; Zinc finger protein ZIC 3; Zinc finger p
別名	
遺伝子 ID	7545/7546/7547/84107/85416
SwissProt ID	Q15915/O95409/O60481/Q8N9L1/Q96T25
免疫原	抗血清はヒト ZIC1/2/3/4/5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 281-330

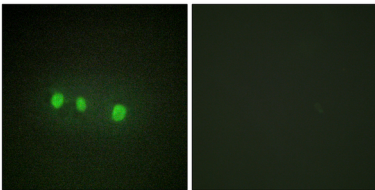
背景

この遺伝子は、C2H2型ジンクフィンガータンパク質のZICファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは発達において重要です。小児の脳腫瘍である髄芽腫では、この遺伝子の異常発現が見られます。この遺伝子は、3番染色体上の関連ファミリーメンバーである小脳4のジンクフィンガータンパク質をコードする遺伝子と密接に関連しています。この遺伝子は、アポリポタンパク質E遺伝子に結合して転写活性化できる転写因子をコードします。[RefSeq提供、2008年7月]機能：小脳の発達に役割を果たす可能性があります。類似性：GLI C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。類似性：5つのC2H2型ジンクフィンガーを含みます。組織特異性：中枢神経系。小脳で高レベルの発現が見られます。外胚葉層の前駆細胞から内顆粒層への移行細胞に至る小脳顆粒細胞系譜の核で検出された。髄芽腫（29例中26例）で検出されたが、検査した他の腫瘍では認められなかった。

研究分野

-

画像データ



ZIC1/2/3/4/5抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。